

国語

注意

- 1 問題は①から⑤までで、9ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えは特別の指示のあるもののほかは、各問のA・I・ウ・エのうちから、最も適切なものをそれぞれ一つずつ選んで、その記号を書きなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

1

次の各文の――を付けた漢字の読みがなを書け。

- (1) 会が和やかな雰囲気で行った。
- (2) 秋も深まり街路樹の葉が色づく。
- (3) パイプオルガンの激かな調べがホールに響く。
- (4) 中学校最後の大会で勝利し、みんなで号泣する。
- (5) 冬休み中は健康に留意し、暴飲暴食は控える。

2

次の各文の――を付けたかたかなの部分に当たる漢字を、楷書で書け。

- (1) 湖で一日中釣り糸をタラして過ごす。
- (2) 夏休みに祖父母の家をホウモンする。
- (3) 水面に山がサカさに映る。
- (4) 桜が満開の古都をサンサクする。
- (5) 飛行機をノウジュウすることに撞れる。

3

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（\*印の付いている語句には、本文のあとに〔注〕がある。）

〔注〕

牡丹、

秋海棠、

青桐、

はくうん木、

南天

——いずれも庭に

植えられた草木。

(中勸助「銀の匙」による)

脇息わきいき——座つたときに肘をかけ、もたれるための道具。

看經かんきやう——静かに經を読むこと。

鉢の子ひちの子——僧の持つ食器。

阿弥陀あみだにかぶり——頭の後ろの方にかぶること。

緋ひの法衣ほふく——高僧の着る明るい赤色の服。

貞ちゃんまことちゃん——寺の子供で、一つ年下の遊び友達。

うかめる——浮かべる。

衣桁いこう——着物をかけるための家具。

茶托ちやたく——茶碗ちやわんを置く受け皿。

隠者いんしや——普通の世の中からは離れて、静かに暮らす僧のこと。

とみこうみ——あちらを見たりこちらを見たり。

〔間1〕

(1)

地上の花を暖あたたかい夢につつんでとるとるとほほえましめる銀色の陽炎ひかりのなかに、その夢の国の女王のごとく花壇にはここかしこに牡丹ぼたんがさく、白や、紅や、紫や。これも夢のものいろいろの羽衣ういをきた蝶ちょうはひらひらときて花に戯たむれ、まだらの甲虫こうちゆうは花粉にまみれてずつぷりと蜜みつによろ。とあるが、この表現について述べたものとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 花が咲き乱れ、虫たちが舞う境内の幻想的な様子を色彩感覚豊かに捉え、たとえを用いながら印象的に表現している。

イ 境内にいる数多くの虫たちの様子を細部までありのままに捉え、順序立てて描くことで論理的に表現している。

ウ 境内に咲く花と、花に集まる虫たちの様子とを多角的に分析して捉え、いろいろと動きを描き分けて対照的に表現している。

エ 時間の経過とともに刻々と変化していく境内の様子を、動きまわる虫たちに注目して捉え、生き生きと躍動的に表現している。

〔問2〕 まことにこの老僧は人間の世界とは橋ひとつをへだてて、世のな

かには夏になれば牡丹がさくということのほかなんにも知らないかのように寂寥じやくまうと行いすましている。とあるが、この表現から読みとれる「老僧」の様子として最も適切なのは、次のうちではどれか。

- ア 夏になると、牡丹以外のことに関心を示さなくなる様子。
- イ 厳しい修行の苦しみを、牡丹の花に慰められている様子。
- ウ 離れの座敷に一人だけにされて、うらめしそうな様子。
- エ 世俗のことからは超越し、ひっそりとして静かな様子。

〔問3〕 <sup>(3)</sup> もののとあるが、これと同じ意味・用法のものは、次のうちではどれか。

- ア バスに乗れば駅から学校までもの五分とかからない。
- イ 投稿しようとして詩を書いてはみたものの気に入らない。
- ウ 傘が無いがこれくらいの雨などものの数ではない。
- エ 難しい仕事だったが彼はものの見事にやっつけた。

〔問4〕 <sup>(4)</sup> それからはときどき家の人のかわりにゆくことがあったが、私は

いつも どうかして話をする機会を得たい とそればかり願っていたが、前へでるとなにひとついい得ずに、黙って茶碗をうけとり、黙って茶碗をさしだして帰ってくる。とあるが、このときの「私」の気持ちに最も近いのは、次のうちではどれか。

- ア 家の者に代わって、老僧のために一生懸命にお茶を入れて運んだので、なんとか老僧の方から「私」に対して感謝の態度を示してほしいと願う気持ち。
- イ 思い切って離れへ行き茶を出すことで、すぐりたいと思っていた老僧に近づくことができたのに、特別に言葉をかけてもらえないことをもどかしく思う気持ち。
- ウ 老僧の茶托を受け取ることができたときは望みがかなったと思ったが、老僧の反応が乏しいので、自己満足だったのではないかと恥ずかしく思う気持ち。
- エ 茶托を持って橋をわたることは子供の「私」にとって非常に難しいことだったが、その困難さに全く気づかない老僧の無関心さを非難したい気持ち。

〔問5〕

私は狐きつねにつままれた気もちで唐紙を買ってきて老僧のまえに出した。とあるが、「私」が「狐につままれた気持ち」になったわけとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 唐紙を買いに現実の町に出たことで、老僧のいる夢の国のような境内の様子に違和感を覚えたから。

イ 老僧の依頼にきちんと応えることができるかどうか分からず、自信のないままに出かけていったから。

ウ 老僧がかけてくれた言葉が、思いもかけないことであったので現実感がわいてこなかったから。

エ 唐紙を買いに行くことは初めてのことであったのに、老僧の指示どおりにできたことが自分でも不思議だったから。

〔問6〕

□に入る、老僧の様子を表した語句として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 石仏

イ 部屋

ウ 審判

エ 脇息

〔問7〕

私は木から落ちた猿のようにすくすくと糸瓜の絵をもって家へ帰った。とあるが、このときの「私」の気持ちに最も近いのは、次のうちではどれか。

ア 茶を入れたことを老僧が喜んでくれるだけで十分だったのに、老僧には絵をかいで欲しいのだと誤解され、心外であるとともにさびしい思いでいる。

イ いつも静かな老僧の、絵をかく姿が珍しくて期待して眺めていたのに、できあがった絵が拍子抜けするぐらい平凡な出来映えだったため、むなししい気持ちでいる。

ウ 老僧のかいてくれた絵の意味が自分ではよく分からず、家の人に見てもらうために早く帰りたいと気がせくとともに、いつまでも老僧のそばにいたいとも思い、悩ましさが募っている。

エ 思いがけなく老僧が絵をかいでくれて、さらに話ができるかと期待したにもかかわらず、あっけなく突き放されてしまい、面くらうとともにがっかりしている。

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（\*印の付いている語句には、本文のあとに〔注〕がある。）

---

〔注〕かぐや姫——一九七〇年代に活躍した音楽グループ。「神田川」

は、そのヒット曲。「風呂屋」、「洗い髪が芯まで冷え、

小さな石鹸がカタカタ鳴る」、「あなたのやさしさが怖かった」はいずれも「神田川」の歌詞。

〔問1〕

① ところで、道具・手段としての外国語学習の必要性は認めるに

しても、もし言葉を学ぶ意義がそんな実用性のみに限られるとしたら、いささか寂しい気がします。とあるが、筆者の考える「道具・手段としての外国語学習」以外の「言葉を学ぶ意義」について説明したものととして、最も適切なのは、次のうちではどれか。

- ア 将来どんな道を選んでも、相手に思いを伝えられるようになること。
- イ ヨーロッパなどの海外で、見聞を広めるために必要なこと。
- ウ 新しいものの見方を身につけ、新しい生き方を始めること。
- エ 文化の違う国の言語を、翻訳できる技術を身につけること。

〔問2〕

① に入る最も適切な語は、次のうちではどれか。

- ア あるいは
- イ だから
- ウ つまり
- エ ところが

(丸山圭三郎「言葉とは何か」による)



〔問3〕

(2) たとえば、かぐや姫が歌ってヒットした「神田川」をマレー語に

訳したマレーシアの留学生には、まず「風呂屋」という語が翻訳不可能であったし、「洗い髪が芯まで冷え、小さな石鹸がカタカタ鳴る」まで待たされた女が、「あなたのやさしさが怖かった」などと言うその心情は、マレーシア人には到底納得できなかったと言っています。とあるが、なぜ理解できなかったのかについての説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 日本語の歌詞の文法構造が、マレーシア人にとっては全くなじみのない特殊なものであったから。

イ 歌われている対象がマレーシアにはないものであり、日本人特有の感性をうたったものであったから。

ウ 取り上げた歌詞の内容が、一般的な日本人の心を表現しているとは言い難いものであったから。

エ 音楽を通じて、互いの文化を理解し合うという目的そのものに意見の違いがあったから。

〔問4〕

(3) 外国語を学習するということは、まず、この音の連続体をどのよ

うに区切って不連続体として受け取るかという能力を身につけることなどのです。とあるが、「音の連続体をどのように区切って不連続体として受け取るかという能力」とはどういうことか。説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 音の区切り方と区切られた音に対応する意味を理解することができるということ。

イ 言葉を意味のない一つながりの雑音の波として認識することができるということ。

ウ 言葉を聞いたときに子音と母音との違いを判別することができるということ。

エ 区切られた音として聞いた言葉がどうつながるかを把握することができるということ。

〔問5〕

②と③に入る、正しい語の組み合わせとして最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア ②社会 ③文法

イ ②構造 ③構文

ウ ②名前 ③視点

エ ②形式 ③文字

〔問6〕<sup>(4)</sup> とりもなおさずとあるが、ここでの意味として最も適切なのは、

次のうちではどれか。

- ア すなわち
- イ あきらかに
- ウ たとえば
- エ おおまかに

〔問7〕 この文章の中で述べられていることと合っているものは、次のうちではどれか。

- ア フランス語は文章の構成が日本語と違うため、日本人にとって学習することは難しい言語だが、習得したときの喜びは大変大きい。
- イ 言語は、その言語圏の文化を伝える手段であるだけでなく、その社会の人々に共通する思考の仕組みを決定づけるものである。
- ウ これからの時代は誰もが外国語を学び、自国の文化中心の視野から脱け出し、世界で通用する生き方ができるようになるべきである。
- エ 私たちが苦痛を訴えるときには、うめき声とか叫び声のような区切りのない音声でしか他人に伝えることができない。

5

「共に生きる」というテーマで、具体的な体験や見聞を含めてあなたの考えたことを二百字以内で書け。

なお、書き出しや改行の際の空欄、  
、や・や「などもそれぞれ  
字数に教えよ。



